

国営緊急農地再編整備事業

あ かん 阿寒地区



地区の現状

- ◇ 本地区は、北海道釧路市の阿寒川流域に広がる酪農地帯にある。
- ◇ 本地区は、農作業委託組織による効率的な農業生産を目指している。
- ◇ しかし、地区内の農地は、小区画や不定形なうえ、排水不良が生じやすいため、効率的な農作業を行うための妨げとなっている。



地域の課題



農家毎の農作業では、労力不足、様々な機械の保有・管理コストを多く要する。

農業構造の課題

農業者の減少や高齢化による経営規模拡大・過重労働

農業生産基盤の課題

基盤整備の遅れによる小区画・排水不良

排水不良により、牧草の収量が少なく、ぬかるみにより作業効率が悪い。

農作業の課題

不十分な農作業委託
・作業委託ができない農地では各農家による作業
・ぬかるみによる作業中断など低い作業効率



このままだと……

農作業委託によって
地域農業を維持する仕組みが成り立たず

円滑な農地継承に支障を来し
耕作放棄の恐れ、良質な自給飼料の確保と
効率的な生産体系の確立が困難

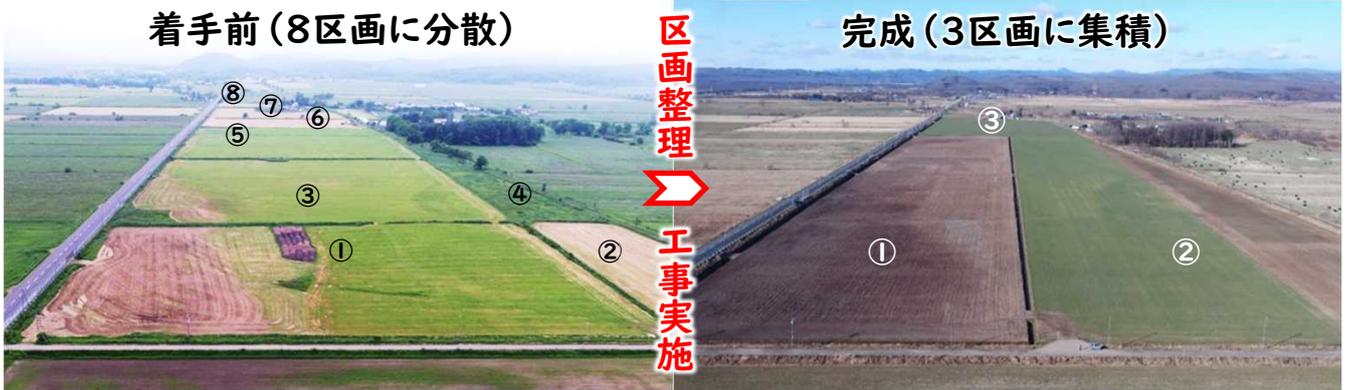
地区の概要

- 関係市町：北海道 釧路市
- 受益面積：2,407 ha
- 受益戸数：58戸
- 主要作物：牧草、青刈りとうもろこし
- 主要工事：区画整理(畑)



整備構想

本事業により、農地の大区画化や排水改善（乾畑化）の基盤整備を行い、農地の生産性の向上と耕作放棄地の発生防止など、農地のフル活用を図るとともに、農作業委託の取組を拡大し、地域の中心となる経営体の体質強化を図る。



地区の目指す姿



大型農業機械の効率的な農作業に対応した農業生産基盤の確立

地域の中心となる経営体の体質強化を図るため農作業委託の取組を拡大

- 飼養管理に専念→生乳等生産の拡大
- 耕作放棄地の解消→農地のフル活用
- 飼料生産コスト節減→所得増加・6次産業化

整備による効果

区画の整序化 → 農作業委託事業利用戸数の増
 農地の大区画化 → 戸当り飼育頭数の増
 排水性の改善 → デントコーン作付面積の増



事業を契機とした地域の動き

良質な自給粗飼料の確保 スマート農業への取組も視野に (ドローンとAI技術で雑草(ギンギン)を検知)

阿寒・釧路TMRセンター

バンカーサイロ

飼料自給率の向上

8%増! 7.0%

6.2% 令和12年度(目標)

凡例

- 5株以上
- 3株以上

搾乳ロボットの導入

地域ブランドづくり

産地指定品として 国内各地へ出荷



学校教育との連携

地元高校生との 協同商品開発



地域ブランド6次産業化



加工・販売 (直売所の拡充)



販路拡大への取組 (北海道東トレイルとの協働)

